

ロシアのウクライナ侵攻から1年。ウクライナに平和を！ 2・24日比谷野音集会 & デモ  
モ ロシアは即時、撤退せよ！ 原発に手を出すな！ 核使用恫喝許さない！ すべての戦争と戦争準備に反対！

本日、2月24日でロシアがウクライナに軍事侵攻し、戦争が始まってからまる1年になりました。しかし、ウクライナの戦禍はいまだに収まらず、出口が見えません。

国連高等弁務官事務所の報告では、この1年に戦争で亡くなったウクライナの民間人は、子供433人を含む7031人で、実際にはもっと多い可能性があると言われています。ウクライナとロシアの兵士の死傷者は米欧の推計で30万人といわれ、民間の死傷者は2万人を超えているといわれています。4000万人のウクライナの人々のうち、国外難民は800万人といわれ、住まいを失ってさまよう国内避難民500万人超といわれます。日本には2291人のウクライナ人が避難してきているといわれます。

このような戦争は一刻も早く終わらなければなりません。

私たちは国連憲章と国際法を踏みにじり、国際社会の批判も無視して強行されたロシアの軍事侵略に断固抗議し、戦火の中で苦しむウクライナの人々と、軍事統制下のロシアで戦争反対の抵抗を続けるロシア市民に連帯を表明します。そして全世界で「戦争反対、ウクライナ侵略やめろ、ロシアは兵を引け」の声をあげているすべての人びとに、そして平和のための努力するすべての人々に敬意と連帯を表明します。

ここにこそ、ロシアの侵略をやめさせ、平和をとりもどす力の源泉があります。

ウクライナでは住宅や学校、病院などの民間施設も相次いで攻撃され、ザポリージャや原発も危険にさらされています。プーチン大統領は21日、米口間の新戦略兵器削減条約の履行停止まで表明し、核の使用の恫喝を行っています。米口間の緊張は激化しています。そしてまたこれらの背景で利潤追求のためにうごめく米国の産軍複合体の動きも見逃せません。事態は極めて深刻でひっ迫しています。

しかし、わたしたちはあきらめることなく、この蛮行に抗議の声を上げ、ロシア政府に毅然とした態度で即時停戦と撤退を求めていく必要があります。

私たちは日本でもこの戦争についての意見がさまざまにあることを知っております。侵略されているウクライナに「非」があるなどという意見は論外として、この戦争は「どっちもどっちだ」という意見もあります。

こうした意見の方々はかつての第二次世界大戦における「反ファシズム連合」の歴史的経験を思い起こしていただきたいとおもいます。歴史はヒトラーや

日本の枢軸国と連合国の戦争で果たしてどっちもどっちと言ってすませたでしょうか。世界は結束してファシズムと闘い、あたらしい時代を切開きました。いま緊急に必要なことは国際法を踏みにじって強行された侵略戦争の即時停止と侵略軍の撤退です。ロシアは武力で国際紛争を解決しようなどという考えをやめ、対話と交渉にもどらなくてはなりません。

ウクライナの進路を決定するのはウクライナ民衆自身です。

私達はこの道がどんなに困難でも、あきらめず、ねばり強く、進んでいく必要があります。

同時に日本政府がこのロシアの非道な戦争に便乗して、東アジアにおいて米国と結託し、敵基地攻撃能力の保有などという憲法違反の「防衛3文書」を閣議決定し、「台湾有事」などさまざまな口実で東アジアの軍事的緊張を煽り、軍拡と増税、改憲、原発推進の動きを強めていることも許すことはできません。

アジアの平和をのぞむなら、対話で共存の道を探すほかありません。

ウクライナ戦争においても憲法9条をもつ日本は、いたずらに米国に追従した「制裁」の実行で済ませるのではなく、ロシアとの対話と交渉に取り組むべきでしょう。日本にはそれを可能にする「外交遺産」があったはずです。いまからでも遅くはありません。ロシアの軍事侵略を止めるためのあらゆる手立てを尽くさなくてはなりません。厳しい寒さの下で苦しむウクライナの人々に非軍事の支援を強め、避難民の人々にもっと国境を開放し、連帯の手を差し伸べなくてはなりません。ウクライナに平和を！ともに声を上げ、可能な限りの行動を起こしましょう。これに便乗した一切の戦争準備に反対しましょう。

私たちの本日の叫びが果たしてウクライナの戦場に届くでしょうか。この声がウクライナの人々の頭上を飛び交うミサイルに対して果たしてどれだけの力があるでしょうか。それを考えると気が遠くなるような思いもします。

しかし、私たちは声を上げ続けます。歩き続けます。かつてのほとんどの戦争がそうした民衆の声によって止められてきたことを信じます。目下の急務は、世界の平和を願うすべての国々と人びとが、「戦争反対」の声を一つにして、ロシアに侵略の即時中止を要求することです。本日の集会とデモはそのために開かれます。

戦争をやめろ。市民を殺すな！侵略軍はただちに撤退しろ。ウクライナに平和を実現しよう。あきらめないぞ。